

平成29年度事業報告書

社会福祉法人 優希会

1. 法人事業活動状況

法人の方針としてきた、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実に、効果的かつ適正に行うために自主的にその経営基盤の強化を図った。デイサービスでは、社内研修や外部研修などに積極的に参加し、サービスの質の向上を目指し、昨年度よりさらなる利用者の獲得・維持に努めた。同時に安定した経営をめざし、実現することができた。来年度は、介護報酬改正となりこれまで以上に介護報酬が下がることとなる。現状を維持できるように経営戦略を練っていかなければならない。居宅介護では、1名体制となり、40名以上の利用者を担当することとなっている。保育園では、小川原小学校が閉校となったが、町外からの利用者が多く入園し定員に近づく形となったか、定員を埋めることはできなかった。少子化という逆境が響いてきた1年であった。平成30年度は27名と定員割れとなり経営にも不安を抱える展開となる。早期解決策を見出し、この状況を打破していきたい。

GHは常時17名以上の入居者がいた。来年度は常時満床を目指していきたい。

今年度はどの事業所においても、目標としていたサービスの質の向上は達成できた。しかし、さらなる質の向上に法人全体で協力しながら業務に励んでいきたい。

地域に密着した法人として、子供から大人まで誰もが安心して暮らせるよう地域福祉を確実に広げることができた。祭りへの参加の呼びかけや、清掃活動、地域住民に対しての介護教室など行った。

小学校が閉校となった今、地域住民と交流できる場は、我が法人が運営する保育施設や介護施設のみとなった。来年度も積極的に地域住民との交流や社会活動を行う予定である。

小川原保育園

別紙のとおり

デイサービスみらい

別紙のとおり

居宅介護支援みらい

別紙のとおり

グループホームやまゆり

別紙のとおり

2. 理事会・評議員選任・解任委員会開催状況

各開催状況参照

3. 監事監査の実施状況

(1) 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支及び財産の状況を正しく示していると認める。

(2) 事業報告の内容は真実であると認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為または定款に違反する重大な事実はないと認める。

4. 施設設備

グループホームやまゆり	園庭整備及び駐車場整備
デイサービスみらい	駐車場整備
	増改築工事

5. 地域福祉の推進

夕涼み会や、みらい祭り、餅つき大会、小川原小学デイサービス訪問、小川原小学校共同芋ほり、小川原地区ゴミ拾い奉仕活動、東北町委託事業介護予防教室、東北町委託事業家族介護教室などを通して本来の事業のみでなく、色々な方々と交流を深め、地域の福祉の推進に努めた。

理事会の開催状況

開催年月日及び開始時刻 (開催場所)	議 題	理事・監事出席者数 (理事・監事総数)	議長及び議事録作成者氏名	理事会開催経費 (円) (日当及び費用弁償を除く)
平成 29 年 6 月 10 日 18 時 0 分開始 (小川原保育園 事務室)	第1号 任期満了に伴う理事の改選について 第2号 任期満了に伴う監事の改選について 第3号 平成29年度事業報告及び計算書類について 第4号 平成29年度第1次補正予算について 第5号 定款変更について 第6号 評議員会の招集について 第7号 理事長専決事項について	理事 6 名 監事 2 名 (理事 6名 監事2名)	議長: 米倉 俊男 議事録作成者 長岩 充	0
平成 28 年 6 月 25 日 13 時 30 分開始 (グループホームやまゆり) 相談室	第1号 理事長選定について 第2号 苦情第三者委員の選任について 第3号 賞与について 第4号 理事長専決事項について	理事 6 名 監事 2 名 (理事 6名 監事2名)	議長: 米倉 俊男 議事録作成者 長岩 充	
平成 29 年 11 月 25 日 18 時 30 分開始 (小川原保育園 事務室)	第1号 送料金について 第2号 平成29年度 第2次補正予算について 第3号 各事業所について 第4号 賞与について 第5号 施設のLED化について 第5号 理事長専決事項について	理事 6 名 監事 2 名 (理事 6名 監事2名)	議長: 米倉 俊男 議事録作成者 長岩 充	
平成 30 年 1 月 20 日 19 時 0 分開始 (小川原保育園 事務室)	第1号 議案 平成29年度社会福祉施設等に係る指導監査の結果について 第2号 議案 定款細則の変更及び就業規則の変更について 第3号 議案 各事業所について 第4号 議案 第3次補正予算(案)について 第5号 議案 福祉サービスの自己評価について 第6号 議案 理事長専決事項について	理事 6 名 監事 2 名 (理事 6名 監事2名)	議長: 米倉 俊男 議事録作成者 長岩 充	
平成 30 年 3 月 24 日 17 時 30 分開始 (小川原保育園 事務室)	第1号 議案 就業規則の変更について 第2号 議案 平成29年度身体矯正予算(案)及び精神障害児支援費金高 第3号 議案 平成30年度当初予算(案)について 第4号 議案 平成30年度事業計画(案)について 第5号 議案 身障及び身障者について 第6号 議案 役員選任状況について 第7号 議案 各事業所新設通所について 第8号 議案 理事長専決事項について	理事 6 名 監事 2 名 (理事 6名 監事2名)	議長: 米倉 俊男 議事録作成者 長岩 充	
平成 年 月 日 時 分開始 ()				

評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日及び開始時刻 (開催場所)		議 題	評議員出席者数 (評議員総数)	議事録署名者氏名	評議会開催経費 (円) (日当及び費用弁償を除く)
平成 29年 6月 25日 13時 30分開始	第1号 第2号 第3号	平成28年度事業報告及び計算書類承認の件 役員選任の件 定款変更について	4名 (4名)	議長： 野村 テル	0
平成 () 年 月 日 時 分開始			名 (名)	議長：	
平成 () 年 月 日 時 分開始			名 (名)	議長：	
平成 () 年 月 日 時 分開始			名 (名)	議長：	
平成 () 年 月 日 時 分開始			名 (名)	議長：	
平成 () 年 月 日 時 分開始			名 (名)	議長：	

平成29年度事業報告書

社会福祉施設 デイサービス みらい

1. 総括

今年度から大規模事業所として定員52名を掲げるも、3月現在1日平均33名に留まっている状況にある。その理由としては、利用者の入所や逝去による伸び悩みも見られた。また曜日により偏りもあるが、利用回数を増やした利用者があった事も要因の1つと思われる。その中で、新規利用者が他居宅ケアマネジャーからの依頼で増加している傾向にもあるが行事が多い事が好評となっているようだ。後半には初回のお試し利用を無料にした事も居宅ケアマネジャーや利用者から喜ばれていた。特に今年度改善した点といえば、外出の際安全第一との考えから1週間掛けての行事を実施してみた結果、ゆとりを持って対応する事が出来、事故も無く経過する事が出来た。また職員の介護に対するプロ意識も向上し、資格取得に励み、研修や勉強会も積極的に実施出来ていた。来年度も利用者第一とし、新規利用者の獲得に職員も努力してデイサービスみらいの更なる発展に向けて取り組んでいきたい。

2. 年間利用者数 (デイサービス事業)

H29年度 デイサービスみらい実績報告参照

3. 職種別職員数 (平成30年3月31日現在)

職種 形態	看護師	介護 福祉士	社会 福祉士	介護員 初任者研 修修了者	介護員 (資格なし)	調理師	介護 支援 専門員	用務員	合計
	人	人	人		人	人	人	人	人
常勤職員	1	6	1	2	1	1			11
パート等 非常勤職員		1				1			2
嘱託									
合計	1	7	1	2	1	2			14

4. 組織体制図

別紙のとおり

5. 年間行事実施内容

別紙のとおり

6. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他 (建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

なし

デイサービスみらい 年間行事等実施報告

- 1、誕生会は誕生者がいる月で実施
- 2、月に1度は買い物を実施する。

項目 月	行		事		職員研修 職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	4・6	誕生会	17～22	体力測定	27	職員会議 帳票種別の理 解と管理						
	17～19	ショッピング	24～26	お花見ドライブ	27							
5月	15～17	ショッピング	8～10	つつじ見学	26	職員会議 医療講座					13	上久保小慰門 母の日
	23・24	誕生会			28							
6月	5～7	誕生会	19～21	ショッピング	23	職員会議						
	12～14	外出（かっぱ寿司）	26～30	七夕作品作り	23	帳票種別の理 理解と管理			23	食中毒に関する 教育		花植え・父の日 保育園運動会
7月	3～5	チェリーセンター 一みらい祭り	18・20	誕生会	28	職員会議						
	9		25～26	流しそうめん								短冊作り
8月	1～5	手作業（しじみ）シ ョッピング（八食）	14・15	誕生会	22	職員会議						
	7～9		25	秋祭り見学	28	認知症講座						
9月	5・7	誕生会	18～20	ショッピング	22	職員会議						
	11～13	敬老会	25～27	手作りおやつ	29	アセスメント 面接技術	28	総合訓練				
10月	3～7	誕生会	16～21	三戸ぶどう狩り遠足	27	職員会議						
	9～11	ショッピング	23～28	体力測定	27	社会人のマナー						文化祭作品作り
11月	9～13	誕生会	20～22	ショッピング	24	職員会議						
	13～17	外出（食べ放題）	27～30	文化祭	24	糖尿病	24	インフルエンザ*対策				
12月	4・6	誕生会	18～21	クリスマス会	26	職員会議					16	保育園お遊戯会
	11～15	八食センター買い物	28	もちつき	6	介護技術						お面作り
1月	8～10	新年会	22～24	ショッピング	26	職員会議						
	15～17	誕生会			26	外部との接遇						保育園餅つき
2月	1～3	豆まき	12・15	誕生会	23	職員会議						
	5～7	ショッピング	19～23	外出（きんいち）	23	認知症ケア			24	健康診断	14	バレンタイン
3月	5～9	ショッピング	20～23	誕生会	23	職員会議						
	12～16	洋ラン祭り見学			23	コミュニケーション 技術	23	総合訓練			3	ひな祭りメニュー そば打ち

みらい デイサービス 日課表(月～土)

時間	業務内容	
7:50	送迎(迎え)	リフト車2台(1号車・2号車)ワゴン車2台で送迎開始 職員配置:運転手1名/助手1名(×2台) 始業点検(バックライトウインカー・ヘッドライトブレーキライト・車体の傷・タイヤ・必要物品の確認等) 車内利用者観察(車酔い・危険行為等)情報収集乗降車介助
	センター待機	職員配置:1名(最低限) 開所準備(カーテン開け/テーブル及び椅子の配置確認/玄関/照明/室温管理等)水分補給準備/パケツ準備/テーブル拭き 浴室準備 玄関準備 利用者用内履き準備 名札準備 電話対応 お絞りに準備 ボランティア受入 うがい用お茶準備 利用者個別対応準備(座布団等) 吸引機準備 体温計準備 血圧計準備 利用者用薬入れ準備
9:00	利用者受入	センター内に職員が不在とならないよう、また所在確認が確実に取れるよう、送迎職員と連携をとりながら行う。 連絡帳・内服薬の確認 : (1便目)センター待機職員 (2便目以降)送迎職員が、責任を持って行う。 家族からの情報等 : センター到着時、その都度利用記録に記入。また送迎終了後、リーダーにも必ず伝達する。 バイタル測定 : 血圧/脈/体温を測定。異常を感じた場合は速やかに看護師に報告する。また、看護師は必ず再検を行う。 上着の管理 内履き・外履きの管理 うがい誘導 座席誘導 水分補給
9:30	ミーティング	
9:40	入浴開始	入浴誘導 : バイタル表にて入浴可否を確認し、入浴表に入浴可の印をつける。その後、再度看護師に口頭で確認した上で利用者を浴室へ誘導する。 入浴可否の判断 : バイタル値及び身体/精神状態等を考慮した上で、看護師が第1次判断を行う。判断が難しい場合は、利用者及び家族、主治医等に確認した上で、看護師が行う。 着脱介助 衣類及び私物の管理 入浴介助 整容 全身観察 浴室掃除 処置 浴室保守点検
11:30	昼食準備	フロア職員は、定時トイレ誘導対象者のトイレ誘導/テーブル拭き/エプロン配り/おしぼり配り/フロア内の整理/昼食用お茶準備等を行い、昼食の準備をする。また準備ができ次第、献立の説明を行う。
12:00	昼食	職員配置:3名 配薬:看護師が責任を持って行う。 配膳:配り間違いがないよう、食札を確認しながら行う。 お茶配り 食事介助 見守り 服薬介助 下膳 食事チェック おしぼり/エプロンの洗濯 口腔洗浄
12:45	午睡	職員配置:3名 定時/随時トイレ誘導対象者のトイレ誘導 午睡の前後誘導 見守り ごみ集め オムツ交換 PMLレクリエーション準備 布団上げ 所在確認 洗濯の管理
14:00	レクリエーション	職員配置:3名(最低限) レクリエーションの内容について、レクリーダーが前日までに月間レク予定表にて確認し、予定表に基づき準備・実施する。レクリーダーが司会進行を担当する。もう2名は補助を行う。その他、所在確認/ボランティア対応/フロア担当/午睡後片付け等についても兼務とし、責任を持って対応する。(その他については、看護師も含む)
	記録/掃除	職員配置:3名(最低限) 連絡帳:連絡帳の内容を再度確認した上で、連絡事項/相談に対する助言/処置内容/利用時の様子等を、必要に応じて記入する。記入後、送迎開始前までに利用者へ返却する。 ケース記録:連絡帳記入後、利用時の様子/特記事項/利用者情報/バイタル値/処置内容等を、時間内で、できる限りまで記入する。 職員配置や業務の状況を確認し、人数的にゆとりがある場合は、職員トイレ等、利用者に見えない所から掃除を開始、または行事準備を行う。 業務日誌:必要事項/特記事項/利用者情報/連絡事項/職員配置/利用者数等について、記入する。 運行記録:配車/職員配置/送迎時間/距離等を記入する。
15:00	おやつ	職員配置:全職員 好きな飲み物を選んでもらい、提供する。お菓子についても、提供する。 DM/人工透析等水分制限のある利用者については、一覧表に基づき、職員が責任を持って管理する。 職員も一緒に茶を飲みながら、コミュニケーション/相談援助の場として活用する。 座席誘導 飲み物/お菓子配り 水分補給 介助見守り 水分チェック コミュニケーション 相談援助
15:40	送迎準備	配車表に基づき、1番出発便に乗車する利用者から送迎準備を開始し、必ず16:00に1番便が出発できるようにする。その他の利用者については、玄関前の状況に応じながら、随時準備を開始する。 配車表確認 トイレ誘導 オムツ交換 連絡事項確認 上着/荷物の確認 送迎車両準備
16:00	送迎(送り)	リフト車2台(1号車・2号車)ワゴン車2台で送迎開始 職員配置:運転手1名/助手1名(×2台) 送迎終了後、運転手は必ず保守点検を行う。 車内利用者観察(車酔い・危険行為等) 情報交換 連絡事項 乗降車介助
	センター待機掃除	職員配置:1名(最低限) センター内外掃除及びリネン交換については、マニュアルに従い、各曜日毎に決められた区域を行う。 翌日準備については、マニュアルに従い、センター内の各場所及び各種物品を、翌日の営業がスムーズに行えるよう準備する。
16:45	ミーティング	必要事項/特記事項/利用者情報/連絡事項/利用者数/関係機関からの情報等について、全職員に報告/連絡する。また緊急なケース等が発生した場合は、全職員で協議し、迅速な対応を図る。
	記録	ケース記録/業務日誌/運行記録等、まだ終了していない記録物について、記入する。また送迎時に得た新たな情報についても、必ず記入する。

平成29年度 デイサービスみらい実績報告書

	体験500円	体験1200円	暫定者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
H29.04月	3	13	2	15	69	319	218	102	34	15	774
H29.05月	1	13	6	21	78	349	236	124	45	18	877
H29.06月	2	15	10	24	75	354	226	111	45	19	864
H29.07月	4	17	9	24	79	365	234	132	36	15	894
H29.08月	0	12	19	24	78	343	239	128	37	16	884
H29.09月	0	13	7	14	80	307	254	147	39	17	865
H29.10月	2	12	9	17	86	324	262	152	39	20	909
H29.11月	1	12	3	18	77	325	257	137	26	18	861
H29.12月	1	11	2	16	92	333	261	139	31	16	890
H30.01月	1	5	26	12	80	309	242	115	23	18	825
H30.02月	0	5	19	13	60	344	223	108	25	19	811
H30.03月	0	9	5	19	63	378	279	132	36	15	927
合計	15	137	117	217	917	4,050	2,931	1,527	416	206	10,533

組織図

デイサービスみらい

- 1 管理者 長岩充
介護員
- 2 C長 大坂茂子
生活相談員・介護員
- 3 主任 米内山千智
生活相談員・介護員
- 4 瀬川真実
看護師・介護員
- 5 坂本里美
介護員
- 6 蛭名拓生
介護員
- 7 嶋脇美紀
介護員
- 8 竹内真子
介護員
- 9 小沼愛
生活相談員・介護員
- 10 松本みゆき
介護員
- 11 蛭名たえ子
調理員
- 12 蛭名香奈子
介護員
- 13 新山勝利
介護員
- 14 市川ミツ
用務員

居宅介護支援センターみらい

- 1 管理者 高橋正人
介護支援専門員

平成29年度 所内職員研修実施一覧表

(計画対象事業所) (指定通所介護事業者) デイサービスみらい

研修目標	チームアプローチを活かし、広い視野と知識を持ってサービスを提供できる。				
	実施日	研修内容	講師担当者		実施報告書 担当者
			居宅	デイサービス	
4月27日 木	帳票種別の理解と管理方法① 適切な管理方法や作成技術の向上を目指す。	佐藤 (和)			各部門 講師が 作成
6月23日 金	帳票種別の理解と管理方法② 法令に必要な帳票作成ポイントを押さえる。	高橋			各部門 講師が 作成
8月28日 月	認知症ケア講座① (疾患知識) 認知症の治療や精神疾患に対する対応方法等			竹内	各部門 講師が 作成
8月22日 火	医療知識講座① (急変・救急) 迅速な対応や病院との連携方法を学ぶ (誤嚥・搬送迄のプロセス)			瀬川	各部門 講師が 作成
9月29日 金	アセスメント面談技術 利用者との面談において、どの位の情報を見出せるか?学ぶ			大坂	各部門 講師が 作成
10月27日 金	接遇対応について① 介護職としての適切な接遇にちいて学びます。			小沼	各部門 講師が 作成
11月24日 金	医療知識講座② (病気と観察力) 病気の理解や介護の観察点における気づきを養う。			蛸名 (香)	各部門 講師が 作成
1月6日 土	介護技術① (移乗・移動介助) 体格の違う人に対する負担の無い援助方法とは?			蛸名 (拓)	各部門 講師が 作成
1月26日 金	接遇対応について② 利用者や関係者への良い対応を学ぶ			長岩	各部門 講師が 作成
2月23日 金	認知症ケア講座② (行動別対応) 問題行動の内容に対する、対応方法を学びコミュニケーション方法を探ろう			嶋脇	各部門 講師が 作成
3月24日 土	コミュニケーション技術 今更聞けないコミュニケーション技術とは?良好な対人関係を築く為には			坂本	各部門 講師が 作成

※各講師担当者に応援にて研修委員が参加していきます。

平成29年度事業報告書

社会福祉施設 居宅介護支援センターみらい

1. 総括

居宅には、4月から8月までは二人体制であり、一人当たり30件を下回ったが、その後一人体制となり利用者人数は3月度で42件となり利用者定員数が超過しているため、来年度は一人当たりの件数を35件に目標修正し調整していきたい。
 マニュアル作成に当たっては引き続き継続して行う。
 東北町委託事業も継続して行っていきたい。介護予防では、地域住民と協力して行っていきたい。今後も住み慣れた地域に根差した活動をスタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思う

2. 年間利用者数（居宅介護支援事業） 事業収支内訳書参照

3. 職種別職員数（居宅介護支援）（平成30年3月31日現在）

職種 形態	看護師	介護職員	調理師	介護支援 専門員	合計
常勤職員	人	人	人	人	人
パート等				1	1
非常勤職員 嘱託					
合計				1	1

4. 組織体制図

別紙のとおり

5. 年間行事実施内容

別紙のとおり

6. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

7. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

なし

居宅介護支援センターみらい 年間行事等実施報告書

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	13	介護予防（体力測定）	19	介護予防（かかし作り）	27	職員会議					19	地域支援事業説明会
5月	23	介護予防（畑づくり）	11	介護予防（環境整備）	26 17	職員会議 ケア会議						
6月	6	介護予防（花植え）	15	介護予防（墨絵作り）	23 14	職員会議 ケア会議			23	食中毒に関する教育		
7月	13	介護予防（ゲートボール）	9	介護予防（みらい祭り）	28 12	職員会議 ケア会議						
8月	10	介護予防（ゲートボール）			22	職員会議						
9月	7	介護予防（収穫）	9 13	介護予防（秋祭り） 介護予防（敬老会）	22 13	職員会議 ケア会議	28	総合訓練				
10月	20	介護予防（収穫）			27 11	職員会議 ケア会議						
11月	9	介護予防（体力測定）	23	介護予防（買物訓練）	24 15	職員会議 ケア会議			24	インフルエンザ対策		
12月	21	介護予防（踊り）			26	職員会議						
1月			8 27	介護予防（新年会） 介護予防（感謝祭）	26 17	職員会議 ケア会議						
2月					23 14	職員会議 ケア会議			23	健康診断		
3月	22	介護予防（そば打ち）	8	介護予防（アルバム）	23	職員会議	23	総合訓練			14	平成30年介護サ ービス集団指導

みらい 日課表(月～金)

時間		
7:50	<p>介護給付</p>	<p>準備(カーテン開け/照明) 申し送り</p> <p>業務内容 利用申し込み、受付 ご利用者との契約締結 アセスメント 介護サービス計画書原案作成 サービス担当者開銀開催 確認・同意を得たプランの交付 サービス提供における事業所等との連絡調整 居宅訪問による状態の把握 利用状況把握・モニタリング 評価・再アセスメントによる計画書の見直し 給付管理業務・介護報酬の請求 特定事業所集中減算の確認(3月・9月) 地域包括等からの複雑な問題を抱えた方への支援要請受託 介護保険施設等への入所相談 その他各種相談業務・申請代行等 記録</p>
16:00 16:50	<p>予防給付</p>	<p>地域包括支援センターからの委託 利用申し込み、相談受付 アセスメント 予防サービス計画書原案作成 計画原案へ地域包括支援センターから意見・確認を取る。 サービス担当者会議の開催 確認・同意を得たプランの交付 サービス提供における事業所等との連絡調整 居宅訪問による状態の把握 利用状況把握・モニタリング 評価・再アセスメントによる計画書の見直し 地域包括支援センターへの支援経過・評価等の報告 地域包括支援センターへの委託料請求 対象施設への入所相談等 他各種相談業務・申請代行等 記録</p>
		<p>掃除</p>

平成29年度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	4	26	12	8	4	4	58
5月	0	3	27	11	9	4	4	58
6月	0	2	28	11	9	2	6	58
7月	0	2	27	11	9	2	7	58
8月	0	2	26	12	9	2	6	57
9月	0	2	22	7	6	2	0	39
10月	0	2	22	7	6	2	1	40
11月	0	2	24	7	4	2	1	40
12月	0	1	24	8	4	2	2	41
1月	0	1	24	8	4	2	2	41
2月	0	0	26	8	4	1	2	41
3月	0	0	27	8	4	1	2	42
合計	0	21	303	110	76	26	37	573

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護 予防支援費	16,900	12,600	8,600	8,600	8,600	8,600	8,600	8,600	4,300	4,300	0	0	89,700
居宅介護 支援費	513,440	528,970	538,390	536,500	517,970	356,840	347,950	346,730	357,920	356,470	362,570	362,780	5,126,530
介護予防委 託事業費	60,000	60,000	60,000	60,000	30,000	90,000	30,000	60,000	30,000	60,000	0	60,000	600,000
合計	590,340	601,570	606,990	605,100	556,570	455,440	386,550	415,330	392,220	420,770	362,570	422,780	5,816,230

前年比 114% 103% 112% 112% 85% 62% 67% 73% 73% 70% 62% 79% 83%

様式2
 地域支援事業実施状況
 ア 事業概要

類	型					在宅介護支援センターのみ記入			
在宅介護支援センターの名称									
併設施設の名称		特養、老健、病院、診療所							
(種別)		その他()							
後方支援施設の名称		特養、老健、病院、診療所							
(種別)		その他()							
居宅介護支援事業所		1. 有 2. 無							
実施機関		年 月 日 ~ 年 月 日 (ヶ月)							
職員の状況		職 種		資 格					
事業実績		項 目		事業の計画			在介のみ記入		
		健康づくり高齢者対象者把握調査回収事業		回収者 名		フォロー対象者		回収者数	
						手紙		人	人
				電話	人	人			
				訪問	人	人			
				その他	人	人			
				計	人	人			
		認知症予防推進事業		参加述べ人数	10回	86人			
		体力づくり推進事業		参加述べ人数	10回	79人			
		家族介護者教室		参加述べ人数	回	人			
		家族介護者交流事業		参加述べ人数	回	人			
総合相談実績	年間相談延人数	(訪問再掲 人) 人							
		介護サービス利用者は含まない							
サービス基本台帳整備数		あり・なし 人分							

組織図

デイサービスみらい

居宅介護支援センターみらい

- 1 管理者 長岩充
介護員
- 2 C長 大坂茂子
生活相談員・介護員
- 3 主任 米内山千智
生活相談員・介護員
- 4 瀬川真実
看護師・介護員
- 5 坂本里美
介護員
- 6 蛭名拓生
介護員
- 7 嶋脇美紀
介護員
- 8 竹内真子
介護員
- 9 小沼愛
生活相談員・介護員
- 10 松本みゆき
介護員
- 11 蛭名たえ子
調理員
- 12 蛭名香奈子
介護員
- 13 新山勝利
介護員
- 14 市川ミツ
用務員

- 1 管理者 高橋正人
介護支援専門員

平成29年度 グループホームやまゆり 事業報告書

1、基本方針

住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる生活を支援する。

2、年間目標と計画内容

①良質なサービスの提供

丁寧な言葉やその人にあった言葉遣いと態度で接した。
認知症状に応じた専門的ケアの実施を行った。
利用者の健康管理・急変時の対応体制の確立させた。
職員内部研修の実施と外部研修参加を行った。
(介護に必要な技術・職員の質の向上に合わせた内部研修の実施)
委員会による役割分担を行った安全管理の徹底を行った。
(施設設備・行事提供・感染症対策・安全の確保)
チームケアの実施を行った
(事故等が起きた時の報告の徹底)
(利用者の状態がわかるよう口頭での申し送りその他、書面での書き残しの徹底)
(定期的な会議やモニタリングの実施)
サービス支援をその都度見直し実施した
(介護サービスの計画の立案と状況に応じた見直しの実施)

②家族との連携

行事等に対しご家族様への呼びかけや交流の機会を増やした。
定期的な面会をお願いを行った。

③地域との連携

2か月に1回の運営推進委員会の開催を行い、地域への情報開示および情報訪韓を行った。
地域交流や社会資源の活用を通し、地域を基盤とした生活が継続できるよう支援した。
地域ケア会議や地域支援事業への参加を行った。

④自立支援に向けた取り組み

入所者にあった作業を見つけ声掛けをし、手伝ってもらいながら意欲向上を目指した。
食事、排泄、運動、水分、口腔ケア、入浴、清潔を中心に生活支援を提供した。

⑤目標稼働率90%を目指す

定期的な営業を実施し、新規利用者の獲得。
異常の早期発見、早期治療により入院者を減らす。
退所後は速やかに次期入所者への移動を行う。
地域の医療関係者やケアマネージャーとの情報交換を行っていく。

3、利用者定員

1ユニット 9名定員 全利用者定員 18名

4、利用日・利用時間

365日 ・ 24時間 提供

5、職員体制

1ユニット	管理者兼計画作成担当者 1名	介護員 5名	
2ユニット	管理者兼介護員1名	計画作成担当者兼介護員1名	介護員 5名

6、日課票

※別紙参照

7、本年度行事計画（職員研修・災害訓練・健康診断等）

※別紙参照

8、組織体制図

※別紙参照

平成29年度利用者内訳表

	暫定	要支援 2	要支援 1	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月				124	217	108	62	31	542
5月				124	217	124	3	50	518
6月		15		120	210	122		30	497
7月		31		155	217	124		20	547
8月		31		186	217	93			527
9月		30		180	240	90			540
10月		31		169	248	87			535
11月		30		150	210	90		30	510
12月		30		150	210	90		30	510
1月		30		150	210	90		30	510
2月		28		140	224	84		28	504
3月		31		155	248	93		31	558
合計		287		1803	2668	1195	65	280	6298

社会福祉法人優希会・グループホームやまゆり 組織図

2018/3/21現在



日 課 表

	早番	日勤③	遅番④	遅番④	夜勤⑤	夜勤⑤
7:00	<ul style="list-style-type: none"> ・内服薬確認 ・申し送り ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応 				<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応
8:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール・コール対応 				退勤・ごみ捨て	退勤・ごみ捨て
9:00	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・リネン交換 ・コール対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・ホール対応 ・コール対応 ・受診準備 ・レクリエーション ・受診対応 				
11:30	<ul style="list-style-type: none"> オムツ交換 					
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応 				
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・レクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・入浴対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・入浴準備 		
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・コール対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 		<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション 		
15:00		<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ対応・オムツ交換 		<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ対応 		
16:00	退勤			<ul style="list-style-type: none"> ・ホール・コール対応 		
17:00		<ul style="list-style-type: none"> ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応・就寝介助 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応・就寝介助 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事配膳 ・食事介助・内服薬介助 ・下膳 ・口腔ケア ・ホール・洗面台清掃 ・コール対応・就寝介助 		
18:00		退勤		<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 		
19:00			<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール・コール対応 		
20:00			<ul style="list-style-type: none"> ・巡視 ・ホール・コール対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯ブラシ消毒 ・巡視 		
22:00			<ul style="list-style-type: none"> ・退勤 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り・退勤 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・巡視 ・内服薬準備 ・事務室掃除・玄関掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り ・巡視 ・食事数確認・歯ブラシ準備 ・事務室掃除・玄関掃除
0:00				<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ・コール対応・オムツ交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・コール対応・オムツ交換
2:00				<ul style="list-style-type: none"> ・コール対応・巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩
4:00				<ul style="list-style-type: none"> ・巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視
5:00				<ul style="list-style-type: none"> トイレ清掃・起床介助 	<ul style="list-style-type: none"> トイレ清掃・起床介助 	<ul style="list-style-type: none"> トイレ清掃・起床介助
6:00				<ul style="list-style-type: none"> ホール誘導・モーニングケア 	<ul style="list-style-type: none"> ホール誘導・モーニングケア 	<ul style="list-style-type: none"> ホール誘導・モーニングケア

事務長	ホーム長	管理者	作成者

職員確認欄

職員確認欄

No. 2

1・総括

平成18年度より、30名の定員での運営ですが、年間平均は30名をきることなく、園児獲得の努力とともに、地域交流や小学校との交流にも力を入れております。また、運営とともに地域の活性化となるよう、子育て支援をしていきたいと思っております。

4・組織体制等

別表 1・2

5・勤務体制、時間等

開園時間 7:00~18:00 園児降園までとする
 平成22年度5月より延長保育事業の為18:00~19:00まで延長保育時間 職員週休2日制 週40時間労働

6・職員研修実施内容

別紙 NO. 2

7・年間行事実施内容

別紙 NO. 2

8・災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙 NO. 2

9・設備、備品、遊具等の充実内容

なし

10. 建物等修理、修繕実施内容

なし

11・その他

なし

2・年間利用者（児）人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
種別	25	25	26	26	27	27	27	28	29	29	29	29	327
措置数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
未満児	8	8	9	9	10	10	10	11	12	12	12	12	123
合計	25	25	26	26	27	27	27	28	29	29	29	29	327

6/1入園・8/1入園・11/1入園・12/1入園

3・職種別職員数（平成29年3月31日付）

職種 形態	施設長	副園長	主任 保育士	保育士	調理員	事務員	嘱託医	保育 補助	合計
常勤職員	1	1	1	6	1	1		1	12
パート職員									
嘱託							2		2
合計	1	1	1	6	1	1	2	1	14

平成29年度
月初日在籍人数

3才以上見	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3
りんご5歳												
ぶどう4歳	6	2	8	2	8	2	8	2	8	2	8	2
みかん3歳	0	5	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0
もも2歳	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
いちご1歳	2	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2
さくらんぼ0歳	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	11	14	25	11	14	25	11	15	26	11	16	27
3才以上見計	7	10	17	7	10	17	7	10	17	7	10	17
未満見計	4	4	8	4	4	8	4	5	9	4	6	10
入退所者名	入)小笠原唯						入)深田莉杏					

3才以上見	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0
りんご5歳												
ぶどう4歳	6	2	8	2	8	2	8	2	8	2	8	2
みかん3歳	0	5	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0
もも2歳	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
いちご1歳	2	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2
さくらんぼ0歳	1	2	3	2	4	3	2	5	3	2	5	3
計	14	13	27	15	13	28	16	13	29	16	13	29
3才以上見計	10	7	17	10	7	17	10	7	17	10	7	17
未満見計	4	6	10	5	6	11	6	6	12	6	6	12
入退所者名	入)野田珠真琉						入)米内山結名					

以上見計	204	123	327
総合計	204	123	327

平成29年度月別延長保育利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
18:00~18:30	51	55	42	59	36	54	47	46	47	33	53	59	582
18:30~19:00	10	31	9	10	6	6	2	6	4	19	16	22	141
合計	61	86	51	69	42	60	49	52	51	52	69	81	723

(人)

小川原保育園 組織図

園長 米倉 俊男

副園長 米倉 國子

主任保育士 蛭名 秀子

保育士 小田 由佳

年少(みかんぐみ)

保育士 木村 聖奈

年長・年中(りんご・ぶどうぐみ)

調理員 蛭名 広子

保育士 下村 真澄

フリー保育士

保育士 富岡 トミエ

未満児(さくらんぼぐみ)

保育士 堀内 えみ

未満児(ももぐみ)

保育士 福村 真紀子

未満児(いちごぐみ)

保育補助 福田 ゆきや

事務員 附田 亜矢子

平成30年3月31日付

平成 29 年度 事 業 報 告

社会福祉法人 優希会 小川原保育園 No.1

項目 月	行事			職員研修		火災訓練		健康管理 (健康診断・検診・検便)		衛生管理・職員会議	
	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	
4月	1日	入園式	12日	お誕生会	11日	地震 (震度4)	11日	給食従事者検便	23日	給食会議	
	28日	芋うえ	7・21日 27日	英語教室 歯科検診			17日	職員検便5名	27日	6名	27日
5月	17日	町歌み聞かせ	10日 11日 12・26日	お誕生会 内科検診 英語教室	16日	総合訓練 (火災)	9日	給食従事者検便	24日	給食会議	
	10日 13日	運動会 バクバク教室	7日 2・23日	お誕生会 英語教室	13日 21日	火災訓練 不審者訓練	6日	給食従事者検便	2日	運動会について ケース会議	
6月	10日	運動会	22日	養護学校見学	27日	食中毒講習会	21日	給食従事者検便	22日	給食会議	
	13日	バクバク教室	28日	調理講習会	28日	調理講習会	28日	7名	28日	ケース会議	
7月	12日	おもしろ科学	10日	保育士研修会	18日	火災訓練	11・15日	給食従事者検便	22日	給食会議	
	12・13日	教政 (市長) 上中職場体験	12・13日 14日	上級救命講習 保育士研修会	22日	地震 (震度3)	18日	給食従事者検便	8日	ケース会議	
8月	5日	夕涼み会	9日	お誕生会	22日	地震 (震度3)	18日	給食従事者検便	21日	秋祭りについて 給食会議	
	24・26日	秋祭り参加	4・25日	英語教室	14日	保育士研修会	5日	給食従事者検便	30日	ケース会議	
9月	2日	JAふれあい	7日	芋ほり	12日	火災訓練 (調理室)	5日	給食従事者検便	20日	給食会議	
	6日	祭り すみれ慰問 親子遠足	11・12日 13日 14日	みらい歌老会参加 お誕生会 観劇会 (年長)	20日	給食会議	26日	6名	26日	ケース会議	

<p>保育理念 (事業運営方針)</p>	<p>地域社会の方々の協力をえて、情操教育、社会教育に努め、児童育成を目指し貢献する保育園にしたい。</p>		
<p>保育方針</p>	<p>・健全な心身の基礎を養う。 ・自然な音楽を通して豊かな情操を養う。 ・望ましい習慣などを身につけ社会性を養う。</p>		
<p>☆発達過程とクラスの相関性</p>	<p>☆基本的社会的責任 地域の方々や、子育て家庭において 保育園の役割や必要性を十分に果たす。</p>	<p>☆地域に実態に対応した事業 田畑が広がる農園地帯に囲まれ集落も広 範囲に広がりがり 2 世代、3 世代家庭が多い。 子育て伝統芸能を伝承し発表の場として 活用し地域のニーズに応え機能している</p>	<p>☆保育時間 AM7:00~PM 6 : 00 延長保育 PM6:00~PM7:00 ☆主な事業 入園式 芋植え 収穫祭 親子遊足 夕涼み会 感謝祭 運動会 誕生会 卒園式 豆まき 雑祭り</p>
<p>子どもの 保育目標</p>	<p>0 歳児 保育士との信頼関係を育む 1 歳児 言葉や遊びの楽しさを伝える 2 歳児 基本動作の運動機能が身につく 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>4 歳児 想像力が豊かになり 目的意識が育ち 5 歳児 遊びの楽しさを伝え、友達と遊ぶ楽しさを伝える</p>	
<p>保育の内容</p>			
<p>養 護</p>	<p>0 歳児 生活リズムを重視し、食取 睡眠 1 歳児 排泄の自立を促し、情緒 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>教 育</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>環 境</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>表 現</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>健 康 支 援</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>環 境 ・ 衛 生 管 理</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>安 全 対 策 ・ 事 故 防 止</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>
<p>保 護 者 ・ 地 域 へ の 支 援</p>	<p>1 歳児 生活リズムを整え、食取 睡眠 2 歳児 自己の意思を伝える 3 歳児 友達との会話が増え遊びの楽しさを伝える</p>	<p>3 歳児 一人ひとりのうねりが健康で安全な 4 歳児 保健的で安全な環境を育む 5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>	<p>5 歳児 健康に生活できるように育てる</p>

健康支援 年 2 回内科、歯科検診 ・健康診断、栄養指導、ブラッシング指導 [町指導]
環境・衛生管理 施設内外の設備、用具の清掃消毒、毎月の遊具点検、砂場の消毒
安全対策・事故防止 毎月の避難訓練、年 1 回総合訓練、救命講習会
保護者・地域への支援 施設への慰問、地域・保護者参加の行事

<p>保育理念 (事業運営方針)</p> <p>地域社会の方々の協力をえて、情操教育、社会教育に努め、児童育成を目指し貢献する保育園にしたい。</p>	
<p>保育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 健全な心身の基礎を養う。 ・ 自然な音楽を通して豊かな情操を養う。 望ましい習慣などを身につけ社会性を養う。 	<p>のびのびとした元気な子どもを育てる</p>
<p>☆発達過程とクラス的相关性</p> <p>年齢別6クラスで園生活を送る中で「思いやり、やさしさ、あこがれ」を大切に、保護者等は子供自身の力を十分に認め養護、教育される。</p>	<p>☆地域に実態に対応した事業</p> <p>田畑が広がる農園地帯に囲まれ集落も広範囲に広がり 2 世代、3 世代家庭が多い。子育て伝統芸能を伝承し発表の場として活用し地域のニーズに応え機能している</p>
<p>子どもの保育目標</p> <p>0 歳児 保育士との信頼関係をつくり、自分の思いを伝えることができるようになる。</p> <p>1 歳児 言葉を使い要求を伝えたり、人や物との関わりを強く持つ。</p>	<p>2 歳児 基本的な運動機能が身につくこと、身の回りのことを一人でやる。排泄の自立。</p> <p>3 歳児 友達との会話がうまくなり、遊びの内容に発展がみられる。</p> <p>4 歳児 想像力が豊かになり、目的を持って行動できるようにする。</p> <p>5 歳児 遊びの発展のために自分達で決まりをつくり、思考力や意欲を高める。就学に対し期待をもつ。</p>
<p>保育理念に対する評価</p> <p>挨拶が元氣よくできるよう職員も元氣に笑顔でふれあい、季節のうたなど取り入れるようにした。基本的な生活が身につくよう個々の成長課程に合わせ指導できた。地域社会の協力も得ながら保育できた。</p>	
<p>保育方針に対する評価</p> <p>挨拶が元氣よくできるよう職員も元氣に笑顔でふれあい、季節のうたなど取り入れるようにした。基本的な生活が身につくよう個々の成長課程に合わせ指導できた。地域社会の協力も得ながら保育できた。</p>	
<p>保育目標に対する評価</p> <p>アウト活動が元氣に行うことが出来るよう、健康状態の把握、体調など全職員で把握できるようにミーティングで確認しあう。また元氣の良い日は戶外へでかけ、体力づくりを行うことに努めた。</p>	

【年間指導計画表】

平成29年度年間指導計画表

園長	主任	担当

年間保育目標		りんご組(5歳児)			
色々な経験を通して、社会生活に必要な基本的習慣や自主性、協調性を身につけ、思いやりや感謝の心をもち、充実感を味わう。言葉による伝え合いや表現意欲を持ち、感じたことや考えをのびのびと表現する。		担当保育士	木村 聖奈		
期	I期(4月～6月)	II期(7月～9月)	III期(10月～12月)	IV期(1月～3月)	
ねらい	年長児としての意欲と目標を持つ様々な活動に取り組み、友達と元氣よく体を動かす楽しさを味わう。	夏の遊びを通して、友達とのつながりを広げ、身近な自然への関心を高めながら不思議さ、美しさに感動する。	仲間との関わりを通して、仲間の中の一かどという目覚めや自信ののびのびと林を動かす。	様々な経験や対人関係の広がりを通し、自立心を高め、就学への意欲を持つ。	
生命	健康な生活を送るために必要な習慣を身につけられるようにする。	適度な運動と休息をとることの必要性を知らせ、健康に過ごすようにする。	健康診断等の体験を通して、病気の予防や事故防止等の意識を深められるようにする。	基本的な生活習慣が身につくとき、自分でできたことに自信や満足感をもてるようにする。	
情緒	保育士との関わりの中で信頼関係を築き、自分の気持ちを伝え安心して過ごせるようにする。	生活リズムを整えることの大切さを理解できるようにする。	身近な人に着められたり認められたりして、自分に自信を持つようになる。	安定した生活リズムと人間関係の中で、ゆったりと安心して過ごせるようになる。	
健康	危険なことがわかり、安全に気をつけて遊ぶ。	自分で衣服の調節をしたり汗の始末をしたり、夏の生活の仕方が身につく。	運動や戸外遊びを意欲的に行い、発汗させる。着替や着脱を調節する。	着替に慣れず体を動かさず、色々な運動遊びに取り組み、就学準備をすることに関心をもち、早稲科就学の生活リズムを身に付ける。	
人間関係	グループ活動の中で、遊びを工夫したり計画を立てたりして友達とのつながりを深める。	友達同士でルールを相談したり感情の行き違いを経験したりして、相手の思いに気がついていく。	友達同士でルールを相談したり感情の行き違いを経験したりして、相手の思いに気がついていく。	友達と役割を分担し協力して完成の喜びを味わう。	
環境	小動物を飼育したり植物を栽培したりして、生命力や命の尊さを認識する。	身の周りの事象や季節の変化に気付き、感性が豊かになる。	身近な自然の美しさを感じたり、自然物を使って様々な遊びを楽しむ。	友達と役割を分担し協力して完成の喜びを味わう。	
言葉	保育士や友達の話をよく聞いて、内容を理解したり自分の気持ちを伝えようとしたりする。	自分の経験や思い、考えを自分の言葉で話し、伝えていく。	文字、数字、時間、曜日、曜線、記号等に興味を持ち、生活の中に取り入れて遊ぶ。	友達と役割を分担し協力して完成の喜びを味わう。	
表現	色々な素材を使って自分のイメージの物を作り、表現活動を楽しむ。	水、砂、泥を全身で感じ、遊びを発展させていく。	歌や楽器演奏を通してリズムの変化を楽しむ。絵本や物語に親しみ想像力を豊かにする。	友達と役割を分担し協力して完成の喜びを味わう。	
食育	友達と一緒に食べる楽しさを味わう。野菜栽培を通して、生長や変化に気付く。	食料と体の関係に興味を持つ。収穫した野菜を食べることで、食への意欲を高める。	正しい食事のマナーを身につける。食卓で食事をしながら、食の楽しさを味わう。	食料や調理する人への感謝の気持ちを育てる。色々な伝統食、行事食の由来を知る。	
健康・安全	避難訓練の大切さをしり、真剣に避難しようとする手洗いうがいなどの大切さを改めて再確認する。	避難訓練の大切さや意味を理解し、安全に非難しようとする。	避難訓練の大切さや意味を理解し、安全に非難しようとする。	訓練を通して、防犯意識を高めていく。	
環境・構成	子どもと一緒に生活の場をつくることを大切にしたい。その過程で半生現になった楽器がもてるようにする。	遊びの中で基本的な動きや技能を十分経験できるようにする。	自分で目標に向かって考えていたり工夫したりして進めていくような環境をつくっていく。	園生活を送りながら、仲間といふことの楽しさを味わう。生活の場をつくることに喜びを感じるようにする。	
援助・配慮事項	個々の様子を良く守り、安心して過ごせるように、信頼関係の構築に努める。	自分で気づいて水分補給が出来るように準備し、活動中一休みをするように促していく。	子どもの興味や関心、知的欲求心に寄り添った、コーナー遊びの見直しを図る。	安心して就学を迎えられるような言葉かけや活動を行う。	
家庭との連携	環境の変化により不安定になりやすくなるため、園と家庭での様子や過ごし方について連絡帳や口頭で丁寧に伝え合い、信頼関係を築くようにする。	水遊びの時期は、水遊びへの参加の意欲を連絡帳に記入してもらい、健康状態を把握する。	就学に向けて子どもの成長を伝え合う。	就学に向けて不安がないか、家庭との連携を丁寧に話し、子どもの様子を伝え合うようにする。	
行事	入園式、内科検診、運動会、避難訓練、誕生会	七夕、誕生会、秋祭り、遠足、避難訓練、七夕、誕生会、秋祭り、遠足、避難訓練、誕生会	敬老会、いも堀り、お遊戯会、避難訓練、誕生会	別れ遠足、お遊戯会、誕生会	
自己評価	何事にも積極的に取り組む子どもたちの活動の様子や、言葉による伝え合いや表現意欲を伸ばすことに努めた。	一人ひとりの健康状態を十分把握して、季節ごとの活動や行事の計画を立てた。	子どもたちの健康状態を十分把握して、季節ごとの活動や行事の計画を立てた。	就学に向けて子どもたちの様子を把握し、安心して就学を迎えられるように努めた。	

園長	主任	担当

【年間指導計画表】

平成29年度年間指導計画表

年間保育目標		ぶどう組(4歳児)			
		担当保育士		木村 聖奈	
期		Ⅰ期(4月～6月)	Ⅱ期(7月～9月)	Ⅲ期(10月～12月)	Ⅳ期(1月～3月)
ねらい		生活や遊びの中で興味関心を広げ、楽しい園生活を送る。行事に楽しんで参加し、意欲的に取り組む。	友達や異年齢児への思いやりや気持ちよさを体感し、友達と一緒に共通の目標に向かって身体表現活動を楽しむ。	身近な事象に触れる中で、豊かな感性を育てる。集団生活で大切な約束事を理解し、守りながら楽しむ。	友達とのつながりを広げ、親しみを深め、進級への期待を持つ。
養護	生命	園生活の決まりが理解でき、安全に気を付けて遊べるようにする。	一人一人の体調を把握し、自分から体の異常が訴えられるようにしていく。	基本的な生活習慣や態度を身につける。	子どもの発達を見通し、個々に合った活動ができるようになる。
教育	情緒	友達や保育士に親しみ、安定した関係性の中で安心して活動できるように見守る。	子ども同士の間で豊かな遊びの中で、除々に自己発揮ができるようになっていく。	一生懸命やった後の満足感や達成感を味わう。	与えられた役割を責任を持って果たすことで、達成感を味わえるようにする。遊ぶ時と集中する時とを区別する。
	健康	新しい生活の場に慣れ、園生活のリズムを覚え、基本的な生活習慣を身につける。	ボール遊びや泥遊びを通して、心地良さや大切さ、不思議さを体験し楽しむ。その後の身の周りの始末の仕方がわかり、進んでできる。	体の構造、仕組みに興味を持ち、体と食物の関係を理解しながら食事をする。	冬の自然現象に関心を持ち、野外で元気に遊ぶ。
	人間関係	仲間といることの喜びや楽しさを感じながら、つながりを深める。	友達の良いところに気づき、一緒に活動する楽しさを知る。	友達と積極的に関わり、喜びや悲しみを共有しあう。	友達と楽しく活動するために、ルールや約束を守るようにする。
	環境	園内の身近な小動物や春の草花に興味関心を広げ、飼育や観察をし、遊びに取り入れて楽しむ。	簡単な数を数えたり、比べたり、順番通りに興味を持つ。音、形、色、手帳り等に関心を持ち、発見し活動する。	身近な動物や自然現象に興味を持ち、その大きさや動き、不思議さに気付いたり、驚き、空想などに興味を持つ。それぞれの役割や性質を理解する。	生活や遊びの中で、前後左右、上下、遠近などの空間や時間に関心を持ち、楽しく理解する。会話を通し、友だちといることの楽しさを感ずれるようになる。
	言葉	友達や保育士に親しみをもち、日常生活に必要な挨拶や言葉を交わす。	友達とイメージを言葉にして共有し、一緒に表現することを楽しむ。	絵本や物語に興味を持ち、イメージを広げたり、歌や、リズムに合わせて読み聞かせたりしようとする。	感じたこと、考えたことを音や動き、絵画や制作で表現する。
	表現	生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。	自分の体に興味関心を持ち、健康であるために必要な食事や遊び、休息の大切さを知る。	食材に興味を持ち、料理される前の状態を知る。	命を食事の関心に興味を持ち、備りのない食事を心がける。
	食育	施設内の衛生に留意し、子どもの身の回りの保育環境を点検して安心、安全な環境をつくる。	安全に遊びを楽しむように、水遊びのルールや決まりを明確にし、伝える。	危険な遊びを取り上げ、正しい遊び方を再確認できるようにする。	寒い時期は急な運動は避け、準備運動への意欲を高める。
	健康・安全	手洗いが正しいように行う。	プール遊びに必要なものの点検、衛生管理を行う。	屋根裏を下ろし、落下防止をする。	園庭の雪かきを行い、避難経路を確保する。
	環境・構成	一人一人の子どもの健康状態を把握し、暑害に気づいたら優しく問いかけをし、子どもが快癒を話せるように配慮する。	買付心を大切に、新しい運動や遊びへの不安や恐れを取り除くように配慮する。	子どもの気持ちを温かく受け取り、個人差を考慮して、子どもが安心して活動できるようにする。	施設内の照明、換気、保温、清潔など環境保護に配慮する。
	援助・配慮事項	基本的な生活習慣が身につくよう、コミュニケーションを密にとる。	保護者の役割を説明し、スキミングの重要性を伝え、家族で過ごす時間の大切さを説明する。	発表会に至る過程の大切さを伝え、成長発表を促す言葉がけを伝える。	感染症などの予防法を伝え、できる限り予防できるように伝える。
	家庭との連携	入園式、内科検診、運動会、避難訓練(毎月)	七夕、秋祭り、親子遠足、避難訓練(毎月)	敬老会、芋ほり会、お遊戯会、防火パレード、避難訓練(毎月)	旧正月、節分、ひな祭り、避難訓練(毎月)誕生会(毎月)お別れ遠足、卒園式
	自己評価	新しい環境に慣れることも前向きに受け入れ、心がけが丁寧。	活動量と体力の向上という環境を確保できるようにしていく。	友だちとのつながりを通じて、伝えたい思いや気持ちを表現し、楽しむ。	クラスでの自分の役割を任せて、集団行動の大切さや集団での大切さを伝える。

【年間指導計画表】

平成29年度年間指導計画表

年間保育目標		みかん組(3歳児)	
		担当保育教諭	
		小田 由佳	
		IV期(1月～3月)	
		III期(10月～12月)	
		II期(7月～9月)	
		I期(4月～6月)	
<p>○基本的な生活習慣が身につくとき、楽しく生活する。 ○遊びのルールを覚え、友達との関わりを深め、相手の気持ちを考えながら楽しく遊ぶ。</p>			
養護	ねらい	<p>○生活の仕方や習慣がわかる。 ○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ○友達や友達と一緒に、好きな遊びを遊ぶ。</p>	<p>○基本的な生活習慣が身につくとき、楽しく生活する。 ○遊びのルールを覚え、友達との関わりを深め、相手の気持ちを考えながら楽しく遊ぶ。</p>
	生命	<p>○環境の変化に不安を感じること、一人一人の発達段階を十分把握し、適切な援助を。 ○できる事は多少時間がかかっても、優しく見守り価値をつけていく。</p>	<p>○安全な自然に触れ、色や形の違い、味を持つ。 ○友達や友達と一緒に、好きな遊びを遊ぶ。</p>
教育	情緒	<p>○できる事は多少時間がかかっても、優しく見守り価値をつけていく。</p>	<p>○保育士や友達との信頼関係が育ち、気持ちよく生活できるようになる。</p>
	健康	<p>○手動けられながら、身の周りのことを自分でしようとする。 ○戸外で様々な遊びを十分楽しむ。</p>	<p>○保育士や友達との信頼関係が育ち、気持ちよく生活できるようになる。</p>
教育	人間関係	<p>○保育士がそばに居ることで、安心して遊ぶことができる。 ○生活や遊びの中で、簡単なルールを覚えていく。</p>	<p>○保育士や友達との信頼関係が育ち、気持ちよく生活できるようになる。</p>
	環境	<p>○戸外に出て体を動かしたり、草花に触れて遊ぶ。</p>	<p>○身の周りのことを自分でする。 ○走る、跳ぶ、投げる等、全身を使うのびと遊ぶ。</p>
教育	言葉	<p>○自己主張が多く、言葉での表現が未熟なため言葉とトラブルになる。 ○生活の中で必要な挨拶の言葉が使える。</p>	<p>○思いのこもったことを言葉で伝える。</p>
	表現	<p>○気に入った遊びを繰り返し楽しむ。</p>	<p>○器に興味を持ち、みんなで一つの音遊びをする楽しさを味わう。</p>
教育	食育	<p>○楽しい雰囲気の中で、友達と一緒に食事をする。 ○準備や片付けの仕方を覚える。</p>	<p>○様々な食品を進んで食べる。 ○行事食に興味を持つ。</p>
	健康・安全	<p>○環境の変化で体調を崩しやすくなる。 ○個人差を考慮しながら、新しい環境に慣れていく。</p>	<p>○暑い時期に注意し、予防に努める。</p>
教育	環境・構成	<p>○園内の環境に慣れ、季節や行事がわかるようにする。 ○季節や行事に合わせて、楽しむ。</p>	<p>○身近な自然や季節の移り変わりに興味を持ち、楽しむ。</p>
	援助・配慮事項	<p>○発達段階に合わせた援助を。 ○季節や行事に合わせて、楽しむ。</p>	<p>○お互いの思いを受け止めながら相手の気持ちを伝え、納得できるように仲立ちしていく。</p>
教育	家庭との連携	<p>○通園時に園や家庭での様子を伝えること、保護者に安心感をもたせていく。 ○行事やイベントの準備を一緒に進めていく。</p>	<p>○行事への取り組みや生活の様子を伝え、成長の喜びを共有する。</p>
	行事	<p>○園式・内科検診・身体測定運動会・避難訓練・歯科検診不審者訓練</p>	<p>○園式・保育参観・お遊戯会避難訓練</p>
教育	自己評価	<p>○安心して身のまわりのことが出来るように。 ○一人一人の発達に合わせた援助を。 ○一人一人の発達に合わせた援助を。 ○一人一人の発達に合わせた援助を。</p>	<p>○園式・保育参観・お遊戯会避難訓練</p>

園長	主任	担当
----	----	----

【年間指導計画表】

平成29年度年間指導計画表

年間保育目標	基本的な生活習慣を身につけて、自分の思いを言葉で表出できるようにする。 自分の好きな遊びを楽しむ、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。		担当保育士	
	ねらい	時期(10月～12月)	時期(1月～3月)	掘内 えみ
養護	ねらい	Ⅱ期(7月～9月)	Ⅲ期(10月～12月)	Ⅳ期(1月～3月)
教育	生命	食事が好き、午睡が安心してできるよう、一人一人に合った対応をする。	生活のリズムがわかり、身の周りのことを進んでしようとする。 水や砂の感触を十分楽しむ。	友達との関わりを深め、簡単な集団遊びを楽しむ。以上児との交流を持ち、進歩への期待を膨らませる。
	情緒	要求や不安を保育士に受容してもらい、安心して自己が表せるようになる。	一人一人の健康状態に気を配り、活動と休息のバランスに配慮する。	基本的な生活習慣の習得を個々に合わせて援助し、一人でできた喜びを味わえるようにする。
	健康	手洗いや手拭き、歯みがきを自分でする。保育士に見守られ、睡眠や排泄を安心して行う。	一人一人に合わせた見守りや手助けしたりして、意欲を大切に育てる。	保育士や友達に認められ共感し合う中で、安心して生活ができるようになる。
	人間関係	保育士や友達と安定した関わりで安心して過ごす。	咽味の通きを感じて自分で水分補給をしたり、「暑い」「涼しい」がわかったりする。	身の周りのことを、友達と一緒に進んでできるようになる。
	環境	自分のロッカーや持ち物を覚える。身近な自然物に興味を示し、名前を知ろうとする。	保育士に思いを受けとめてもらいながら、他児とも自ら関わっていく。	簡単なごっこ遊びを通して相手の思いを受け入れようとする。
表現	言葉	手遊びや歌を通して、言葉の響きを楽しむ。	好きな絵本を繰り返し読み、色々な言葉や表現を覚える。	好きな玩具に差込んで関わり、それをごっこ遊びに取り入れる。
	表現	体操やダンス、全身を使った遊びを保育士と一緒に楽しむ。	全身を使った遊びを通して色々な物の名称を覚える。	質問に答えたり、様子をまじりながら自分の考えや、身振り手振りを交えて伝えようとする。
食育	楽しい雰囲気の中で食事をする。	よく噛んで最後まで食べる。	絵本や物語の登場人物になりきって遊ぶ。	季節に合った作品を、保育士と一緒に作ることを楽しむ。
健康・安全	健康	避難訓練に参加する。 健康診断を受ける。	交通安全の話を聞く。 防災訓練に参加する。	春の使い方を覚えてもらう。
	安全	個別マークを書ける。	戸外でも日陰の場所や風通しの良い場所を確保し、十分休憩をとる。	防災の種類ごとの合図を聞き分ける。
援助・配慮事項	環境・構成	季節の花を見て「綺麗だね」「可愛いね」と言葉にして褒めを伝える。一人一人の不安な気持ちに共感し、状況を共に築いていく。	夏や秋の時期、遊びや活動の場を確保し、戸外でも日陰の場所や風通しの良い場所を確保し、十分休憩をとる。	一人一人の育ちを尊重し、遊びへの興味や発達課題を再確認する。
	家庭との連携	連絡帳やお迎えの時間を活用して、園での様子を伝えて保護者の不安を軽減し、園での様子を共有する。健康診断の結果を伝える。	夏の間、園や家庭に合わせた活動や遊びを提供し、子どもの成長を促す。	園に慣れてきた子どもが、冬という季節を迎え、戸外での活動や遊びの機会を減らす。園での生活リズムや成長の様子を再確認し、発達課題を再確認する。
行事	行事	入園式・進級式・誕生日会・運動会・健康診断・避難訓練	誕生会・秋祭り・避難訓練・お遊戯会	誕生会・節分・卒園式・避難訓練・感謝祭
	自己評価	生活リズムを身につけ、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。	生活のリズムがわかり、身の周りのことを進んでしようとする。 水や砂の感触を十分楽しむ。	友達との関わりを深め、簡単な集団遊びを楽しむ。以上児との交流を持ち、進歩への期待を膨らませる。

生活リズムを身につけて、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。
自分の好きな遊びを楽しむ、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。

生活リズムを身につけて、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。
自分の好きな遊びを楽しむ、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。

【年間指導計画表】

平成29年度年間指導計画表

年間保育目標		生活リズムが安定し、信頼できる保育士のもと、個々が安心してありのままで自分を表現する。 食事、排泄、着脱等身の周りのことを自分でやろうとする気持ち、関わりを深める。 友達との様々な触れ合いの中で、いろいろな気持ちや味わい、関わりを深める。		いちご組(1歳児)	
期		I期(4月～6月)		II期(7月～9月)	
ねらい		新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 個々の生活リズムを大切に、言葉や歌を添え、戸外での春の自然と触れ合う。		戸外で全身を使った遊びを十分に楽しむ。 生活の様々な場面面で、友達との存在を意識し、関わり、保育士とのやりとりを通して発語を楽しむ。	
生命		一人一人に合った生活リズムで、無理なくゆつたりと過ごす。		季節の変化に留意し、保健的で安全な環境を作り、心身共にのびのびと過ごせるようにする。	
情緒		一人一人の心身の状態を把握し、暖かく受け入れ信頼感が芽生えるようにする。		一人一人子どもの意欲や思いを理解し受け止めることと信頼関係を築くようにする。	
健康		楽しくゆつたりとした雰囲気の中で食事をすすめる。		排泄がない時も、トイレに座って自分でみる。衣服の増脱を少しずつ自分以上でやってみる。	
人間関係		自分の好きな場所や遊びを見つけて、保育士と触れあってみる。 保育士に真守られ、一人遊びを十分に楽しむ。		保育士を介して、同年齢や異年齢の子とも一緒に過ごすことを楽しむ。 全身を使うことと遊ぶこととを友達と関わる。	
環境		戸外で春の自然(花、虫等)に興味を持ち楽しむ。		おもしろいや場所や自分のロッカーがわかり、片付けようとする。 散歩に出かけ、自然探索を楽しむ。	
言葉		保育士との関わりや絵本を通して、言葉の理解を深めたりすることを楽しむ。		好きな歌や絵本、保育士とのやりとりを通して、言葉の繰り返しや模倣を楽しむ。	
表現		ピアノや歌に合わせて手指や全身を動かす。		音楽に合わせて体を動かす。 クレヨンや絵の具に触れ、手触りや色彩を楽しむ。	
食育		保育士や友達と、楽しい雰囲気の中で食事をすすめる。 正しい姿勢で、スプーンやフォークを使う。		苦手な物や皿に残った物も頑張って集めて食べようとする。	
健康・安全		保育士の促しにより、危険回避をしようとする。		救急車や消防車等に興味を示す。 手洗いや歯みがきを進んで行う。	
環境・構成		室内外の安全点検を十分に行い、危険箇所については共通理解しておく。		園周辺の危険箇所について、保育士間で十分把握しておく。 個々に合わせて満足感が得られるようにする。	
援助・配慮事項		保育士同士が一人一人の姿や様子を把握し、声を掛け合いながら安心して過ごせるようにする。		子どもが自分でやろうとする気持ちを大切に、し、側で見守る。	
家庭との連携		子どもの様子やクラスの出発事お知らせ等連絡ノートや口頭で知らせる。		気温の変化から体調を崩すことも見られるので、家庭と連絡を取りながら健康に過ごせるようにする。	
行事		入園式、健康診断、誕生会運動会、総合避難訓練・身体測定		誕生会、お遊戯会・運動会・夕涼み会・七夕・親子運動会、秋祭り 身体測定	
自己評価		運動会に向いて走ったり、車のおもちゃに乗って遊んで当日は泣かずに参加できた良かったと思う。		「遊戯会」練習も始まり、楽しみながら「遊戯」の練習が楽しく思える。 「トイレトレーニング」も慣れずに遊み、このころは「遊戯」の練習も一人で行うようになったと思う。	

トイレトレーニングも慣れずに遊み、このころは「遊戯」の練習も一人で行うようになったと思う。

年間指導計画表

平成29年度年間指導計画表

生理的欲求を満たし、一貫した生活リズムの中で健康な体を作る。安心感の中で園生活を楽しむ。

さくらんぼ組(0歳児)

園長 主任 担当

富岡 トミエ

担当保育士

IV期(1月~3月)

III期(10月~12月)

II期(7月~9月)

I期(4月~6月)

Main table with columns: 期 (I-IV), ねらい (ねらい, 生命, 情緒, 健康, 人間関係, 環境, 言葉, 表現, 食育), 健康・安全, 環境・構成, 援助・配慮事項, 家庭との連携, 行事, 自己評価. Each cell contains detailed educational goals and activities.

喃語で保育士の音かけに子供が反応し、理解が深まる。言葉遊びを通して、言葉の楽しさやリズムを覚える。